

第 99 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 26 年 4 月 27 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 大橋 民男 木村 敏彦 小島 隆雄
欠席委員の氏名 堂園 孝美 島田 貴司
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸
4. 議題
 1. 番組編成に関して
 2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容
議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。
委 員 長：児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。
会社側委員：平成 26 年 4 月から新番組「INDIES POWER」が放送開始されました。リンクスというグループによるインディーズの紹介番組です。ホームページから出演者の紹介などをご覧になれます。同じく 4 月から新番組「すぼみゅ〜」の放送も開始されました。
委 員：「INDIES POWER」は新たな可能性を指向する側面もあって今後の展開を楽しみにしたいと思います。「すぼみゅ〜」は数少ないスポーツ情報番組として見守っていきたいと思います。
会社側委員：企画としては以前から持ち越されておりますが「（仮名）鎌倉井戸端会議」というような新番組への取り組みも継続しております。
委 員：コミュニティ放送ならではの企画だと期待しておりますので早期に実現していただきたい。番組審議会としても出来る限りのお手伝いをしたいと考えております。
会社側委員：3 月 11 日の特番に「女川発」の番組を放送いたしました。当局でも被災時への対応を現実的にとらえたハードとソフトの整備を実行していきたい。
委 員：前回は議題になりましたが災害関連への備えは怠れませんが現実的に可能な対応に留意すべきです。
会社側委員：等身大の対応として現時点では予算化も出来ない現状ではありますが送信所とスタジオの自家発電装置を早期に実現したいと考えております。現状では約 3 時間程度の計画停電などに対応した UPS を装備しておりますが想定される最悪の事態には対応できません。非常時への対応としては現実的な可能性を追求してまいります。
委 員 長：よろしく申し上げます。本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し
以 上